

東京都中央区で 再生可能エネルギーを活用した環境配慮型シェアサイクルの実証実験を開始 ～シェアサイクルの最適配置における太陽光発電とEVトラックの活用～

株式会社 NTT ドコモ（以下、ドコモ）と株式会社ドコモ・バイクシェア（以下、ドコモ・バイクシェア）は、中央区とドコモ・バイクシェアが共同で運営する「中央区コミュニティサイクル（シェアサイクル）事業」において、太陽光発電と電気自動車（以下、EVトラック）による、シェアサイクルの最適配置の実証実験（以下、本実証）を、2023年1月25日（水）から2月16日（木）まで実施します。



本実証で使用するEVトラック

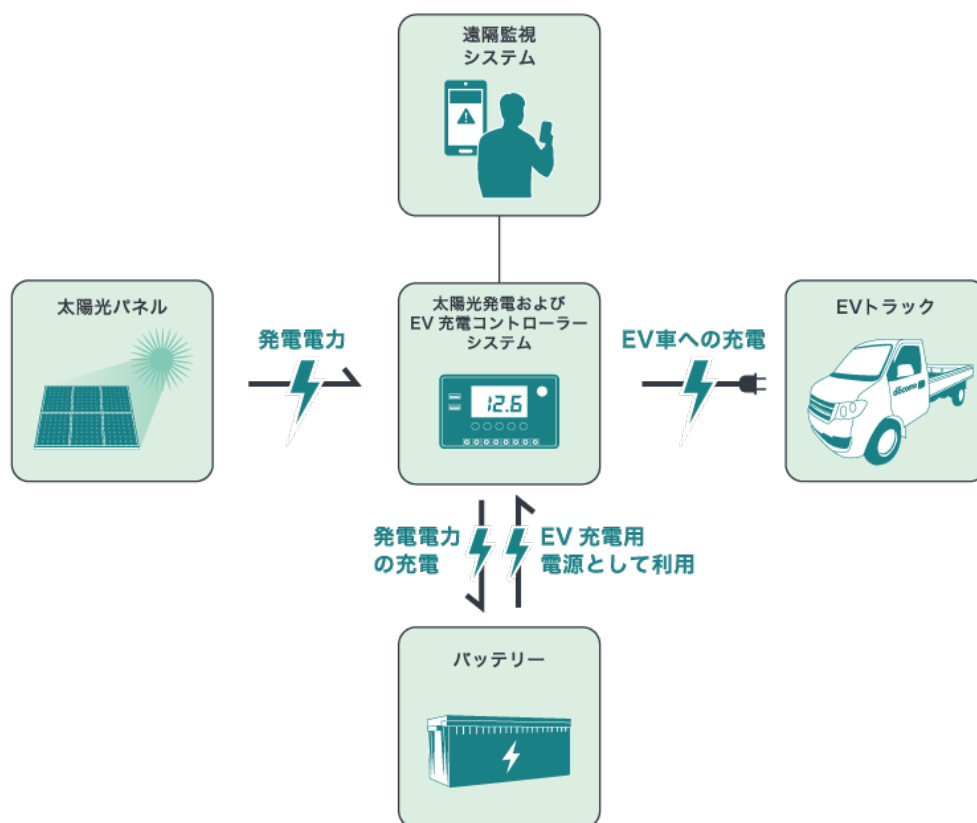
シェアサイクルは、環境に配慮した便利な移動サービスとして各地で普及し、ドコモとドコモ・バイクシェアは、現在全国48エリアにおいてシェアサイクル事業を運営または提供しております。

一方で、お客さまが自転車をご利用された後、設置場所に偏りが生じた自転車の移動（最適配置作業）に使用する車両について、これまではガソリン車を利用していたため、ゼロカーボンのサービスになっておりませんでした。

本実証では、最適配置作業に使用する車両をガソリン車から再生可能エネルギー由来の電気を使用したEVトラックへ切り替えることで、シェアサイクルのサービス全体としてゼロカーボンを実現できるよう、取り組みを推進してまいります。

なお、EVトラックを使用したシェアサイクルにおける最適配置作業の取り組みは、日本初^{※1}です。

<本実証の構成図>



本実証では、ドコモ・バイクシェアの中央区晴海の倉庫に太陽光パネルと蓄電池を設置し、太陽光パネルで発電した電気を蓄電池へ一時蓄電のうえ、EVトラックへ充電するため、これまでよりも環境に配慮した運営が可能となります。^{※2, 3}。

また、太陽光パネルと蓄電池からEVトラックへの電力供給能力の測定や、EVトラックの走行による電池の使用量の測定、CO2削減量データの取得を行い、環境負荷軽減の効果について分析します。

ドコモは太陽光パネル・蓄電池・EVトラックの調達・提供と充電能力とCO2削減の分析を行い、ドコモ・バイクシェアはEVトラックによる最適配置の運用とデータの取得を行います。

本実証により、環境配慮型シェアサイクルの商用化に向けた検討を進め、ドコモグループのカーボンニュートラル実現に向けて、グリーントランスフォーメーション（GX）の取り組みを推進いたします。

※1 2023年1月15日現在、ドコモ調べ。

※2 EVトラックの試験車両として、フォロフライ株式会社 F1Tを使用します。

※3 太陽光パネルによる発電量だけでEVトラックを十分に充電できない場合は、系統電源を補助的に使用して最適配置作業を実施します。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 NTT ドコモ ライフスタイルイノベーション部 GXビジネス担当

モビリティビジネス推進室 第二ビジネス推進担当

E-Mail : docomo_gx@ml.nttdocomo.com

株式会社ドコモ・バイクシェア 経営企画部 大橋・山口

E-Mail: pr@ml.d-bikeshare.com